



やっと一輪、ほころびを見せてくれた、藪の中の蠟梅。
見つけたからみんなに見てもらうよ。春の先駆け 1月30日

楽音

佛歴二五六六 西歴二〇二三
令和五年二月号

発行 楽音寺 住職 内藤睦雄
電話 090-3140-3931 (携帯)

0553-47-3475 (お寺)

FAX 0553-47-3495 (只今使用不可)
寺庭 090-8643-0852 (藤井牧子)

二・三月の予定

二月八・九日 師範準師範研究会 (本山)

十五・十六日 和歌山教区講習会

二十・二十一日 信越教区講習会 (楽音寺)

十二・二十六日坐禅会 朝六時三十分

三月四日 沼津徳源寺 津送及び一周忌

五日十四時 オークストラ演奏会

於双葉ふれあいホール

十八〜二十四日 お彼岸

二十一日 彼岸お中日

十三・二十七日 坐禅会 朝六時三十分

今月の掲示板

ひそと来て

茶入れる人も余寒かな



余寒（よかん）は、寒明け後の寒さのことをいう。

春寒という言葉には春でありながら寒い時の表現であることに對し、余寒には寒が明けてもなお寒さが残ること。暦の上では春なのだから、と期待するだけに、よけいに寒さが恨めしい。

けれども考えるまでもなく、もう寒さはそうは続かないし、外気にも日々どこかしら弛みを感じられて、春は日一日と濃くなってゆく。子供のころ、つまり私もかわいかった頃「春はどこまで♪」と歌いながら「お隣の酒屋さんまで？」と自問自答して、瓶の王冠を拾いに空を見上げたことを思い出す。

否ここでは春の行方よりも「ひそと来て」という言葉を追いかけるべきだろう。この句は「ひそと来

て」という言葉に命を吹き込まれている。それは「そつと来て」よりも細やかで丁寧な身のこなしが見えるようだし、きつとお茶を淹れるタイミングも計ってくれている。お茶は適度に熱く、行き届いた配慮にその人は心を砕く。そこまで見えてくる言葉だと思ふ。そしてお茶のその人に、どこかしらまだ寒さを感じられるようだ、という場面だ。「その人」はさしづめなぜか抜き足で音もなく近づき、『お茶よ』頼まれないけどね、と暗に含ませ帰っていく。のどかな温かさを感じる。一言「ありがとう」。

不可思議

ここでは仏教語についてあれこれ思いつくままにお伝えしているつもりだが、「不可思議」も仏教語である。一般的な意味は、思いもつかない、あるいは怪しく異様で現実とはかけ離れた様子を表している。「不可思



議」が数の単位の一つでもある

ことをご存知の方は多いだ
ろう。それは十の六十乗とも
八十乗ともいわれる想定以

上の単位だ。なんだかそれは中国
大陸の匂いがしまいか。でも、その限りなく
想像できない程に、という点から、言葉にも
文字にも、更には心にも思い計ることができ
ない、及ばない事の境地を示す仏教語。まさ
に阿弥陀の異名である「無量光」の世界だ。
人気テレビ番組の「世界ふしぎ発見」は、
思いもつかないアプローチで世界中の不思議
を紹介する。

でもこの番組の
真に摩訶不思議な
存在は、キャスター
の黒柳徹子だろう。

子葉
の言葉
徹子の

80
WORDS
OF
TETSUKO
KUROYANAGI

桑原 晃



「好奇心のかたまりであり続ける」

時代がどんなに
変わっても
常に自分らしく

個性を伸ばす
ワンフレーズ

臨濟寺専門道場へ掛搭

翌朝粥をいただいた後、いよいよ禅堂に案内された。本堂前の濡れ縁を通って渡り廊下を歩くと、向こうに静かに構える禅堂。東側の障子戸を開けるとすぐそこに聖僧文殊菩薩がいらっしゃる厨子があつて、そこで三拝。気が付くと全体は黒い敷瓦、固く冷たい大地、伽藍だけあつてがらんとした堂内は、周りが腰の高さほどの段になっていて畳敷、そこに数人の雲水。皆精悍な顔つきで私を視界の中に入れていく。歳は私と同じか少し上に見えるが、後で聞いたら一人は私よりひと回りも下という。道場生活が人を大人にするのか。突然「新到参堂」の声で皆立ち上がり、ものすごい速さで荒々しく三拝を始める。新しく入門叶った私を『新到』として、最上級の

挨拶をしてくださり、仲間に入れてくれたことかと感動した。しかし「えーこの方は○○出身の」とか「学歴は」などの余計な紹介は一切なし。まさに簡潔明瞭かつ厳粛。なんともすがすがしい入門式か。

ふと一畳分空いた畳の頭上高く、暗い天井からは『睦雄禅士』と筆で書かれた「単標」と呼ばれる木札が下がっている。ここが自分の居場所？ 瞬間家族のことも音楽のことも、すべて頭から抜け出て、背筋がしゃんとする思いであった。

編集後記

庫裡建設の職人さんは、工務店の社長とその息子の専務さん、家族同様に行動するフットワークの良い中国人のリーさんと外注さ

んと思われる方計四人が、日曜を除く毎日、朝七時ころから夕方、真っ暗な六時過ぎまで、ずっと金槌とラジオの音が鳴っています。き

つと一日でも早く仕上げたいと思います。ありがとうございます。



建物北側です。右側は最初に建ててくださった倉庫です。西の方角の白い山々に朝日が当たっています。

1月30日現在